

APU 言語研究論叢 原稿作成要領

— 基本事項 —

タイトルは MS 明朝、16ポイント(ただし、副題は14ポイント)

名前は MS 明朝、12ポイント、文字間は2マスずつ開ける

要旨、本文、注釈、参考文献 の順で記入。

要旨のフォントサイズは MS 明朝、8ポイント。要旨タイトルは MS ゴシック

本文のフォント、サイズは MS 明朝 9ポイント。本文中サブタイトルは MS ゴシック

注釈、参考文献は1ポイント下げて、8ポイント

※ ワードが自動的につける脚注は決して使わないでください！

***** ご参考 *****

※ 以下の設定方法はご使用中のPCの環境により、対応していない場合もあります。
ご了承ください

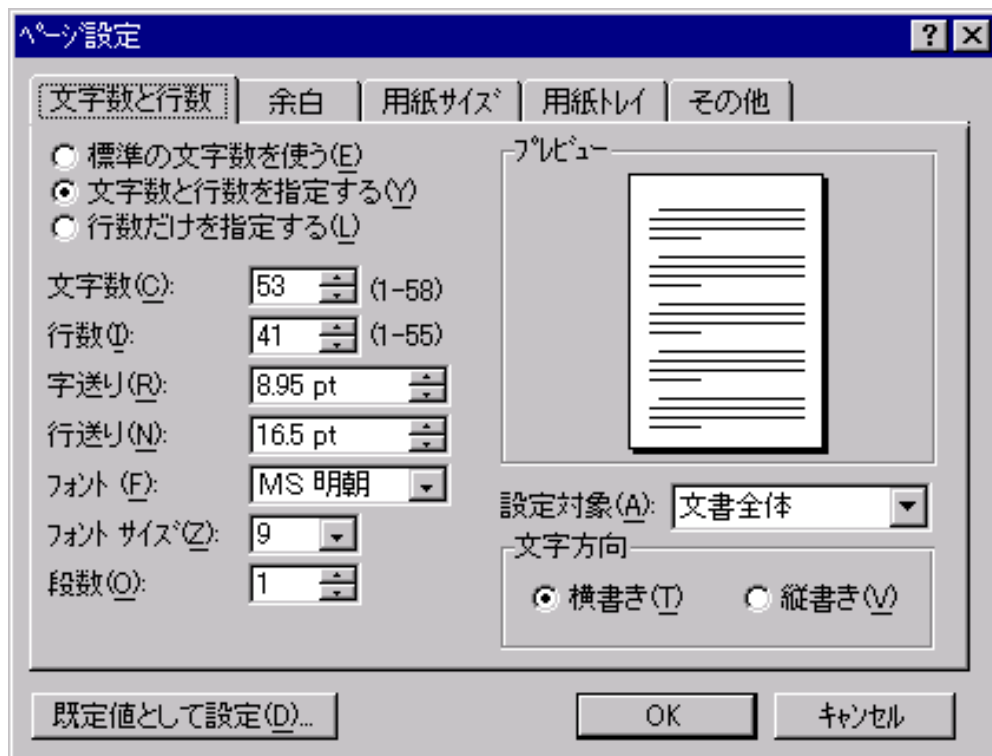
1. ページ設定

① まず、ページの設定をします。

「ファイル」－「ページ設定」を開きます。「文字数と行数」ボックスで、

- A) 「文字数と行数を指定する」をチェック
- B) 文字数…53 行数…41 に設定します。
- C) 字送り、行送りは、取りあえず無視します。
- D) フォントは MS 明朝に設定
- E) フォントのサイズは 9ポイントが基本です。

<図-1>

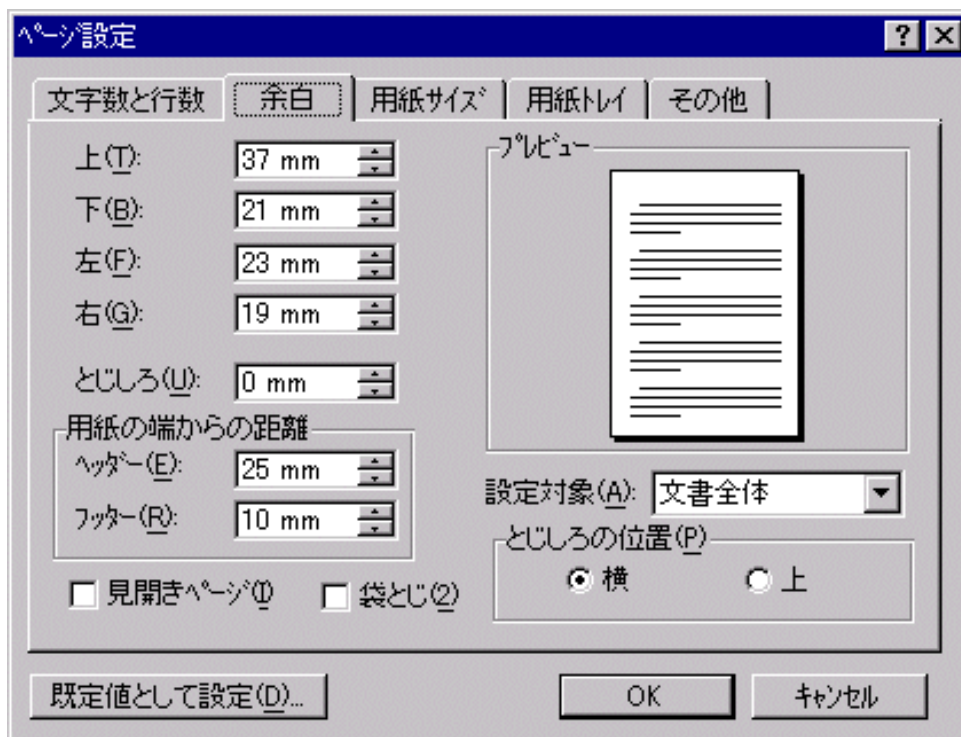


② 次に余白を設定します

同じく、「ページ設定」を開いたまま、次は「余白」ボックスで、

- A) 上…37mm、下…21mm 右…23mm 左…19mm と設定します。この時に①で設定しなかった、字送り、行送りが適当な間隔になります。
- B) ヘッダー…25mm フッター…10mm に設定。

<図-2>



③ 最後に、「その他」ボックスで、ヘッダーをフッターについて設定します。

- A) 奇数/偶数ページ別指定 をチェック
- B) 先頭ページのみ別指定 をチェック

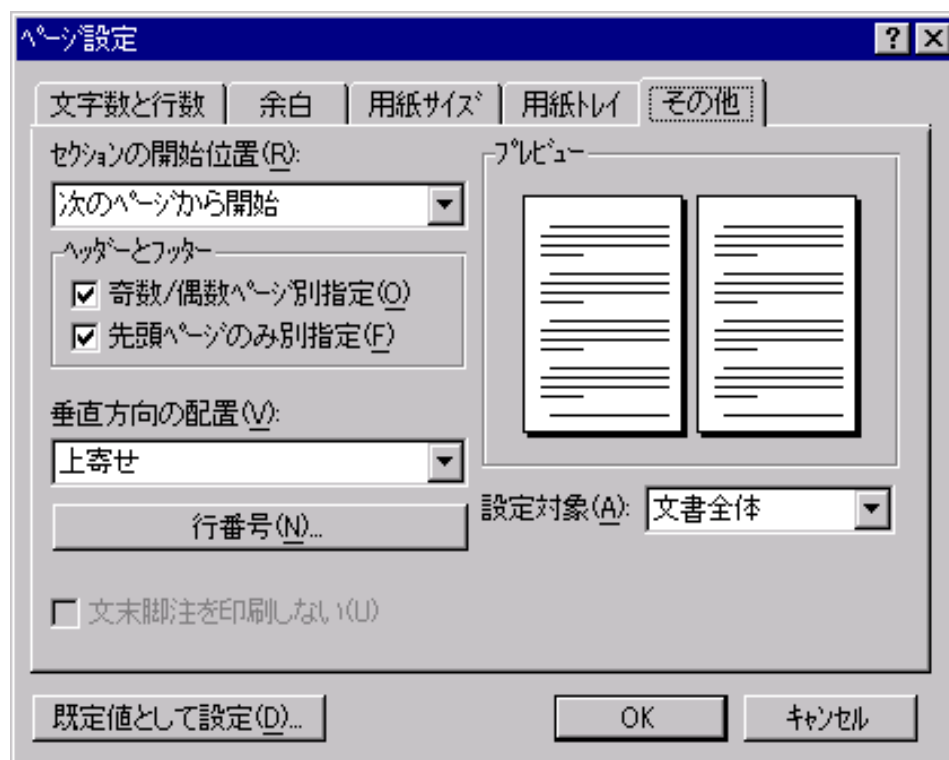
(ヘッダー) 最初のページは空白、

偶数ページには、「ポリグロシア 第7巻 (2003年3月)」

奇数ページには、先生の論文のタイトルがきます。

(フッター) ページ数が表記されなくてはならないのですが、A,B の設定をするので、最初の3ページのフッターが入っているかどうか必ず確認して下さい。

〈図-3〉



※これを設定しただけでは、ヘッダー、フッターは入力されません。この設定は、ヘッダー、フッターの位置等を決めるものです。

※ヘッダー、フッターの入れ方。

「表示」－「ヘッダーとフッター」で、入れて下さい。

以上の設定が終了したら、今一度、すべてのボックスで、設定変更がなされているか確認して下さい。

2. インデントの付け方

まず、要旨をいれますが、要旨は本文のポイントより1ポイントさげて、サイズは8ポイントです。左右インデントをつけ、少し中央よりにします。1行の文字数は約55です。

「書式」－「段落」 「インデントと行間隔」ボックスで、

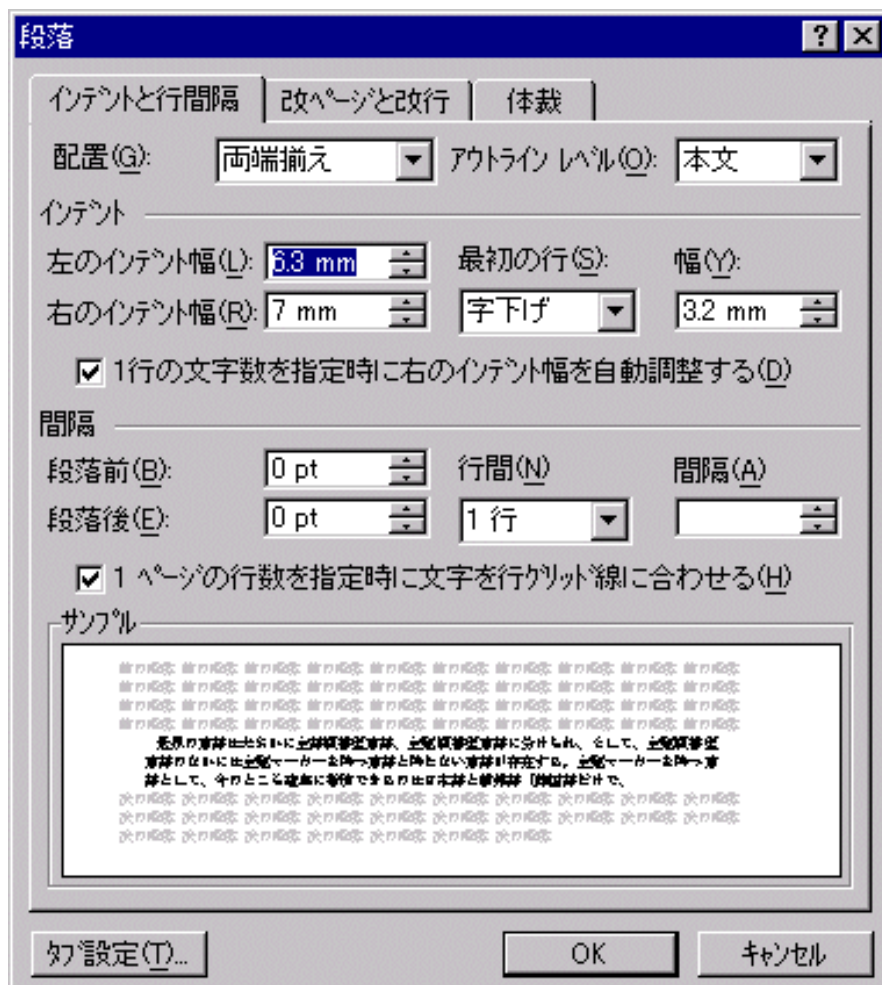
- ① 左のインデント幅…6.4mm
- ② 右のインデント幅…7.0mm

そのあとの本文はインデント0mmにならなくてはなりません。

そして、最後に注釈、参考文献をつける時は、文字サイズが、要旨と同じく8ポイントになります。インデントは左側のみつけます。

- ① 左のインデント幅…6.0mm

〈図-4〉



段落の初めの行は、字を一マス下げますが、それを、字下げと言って、このボックスで指定できますので、一緒に行います。字下げ幅は 3.2mm です。

ご不明な点がございましたら、編集委員会 aplj@apu.ac.jp までお問合せください。